

科目名	卒業研究															
英文	Graduation Study															
担当教員(カナ)	宋 宇(ソウ ウ)															
E-mail	song@fit.ac.jp			研究室	B棟8階											
学科	システムマネジメント学科			学年	4	開講学期	2014年度 前期～後期									
必修・選択	必修			単位数	6	授業形式	個別指導									
キーワード	最適化手法、オペレーションズ・リサーチ、e-ビジネス			関連リンク	http://www.fit.ac.jp/~song/OR											
授業内容	<p>卒業研究は、指導教員の同意を得て届け出た題目について研究し、その成果を研究発表会において発表し定められた期日までに卒業論文を提出しなければならない。学科全体の卒業研究発表会は2月下旬、卒論の成績提出は3月上旬である。</p> <p>本研究室は、経営問題や、社会現象などを数理的な手法を用いてモデル化し、最適化する研究を中心に、幅広い分野について研究を行う。大きく分けると、OR系と情報系のテーマにグループ分けできるが、両者が結合する研究テーマも多い。詳しくは授業計画の欄を参照するように。</p>															
学習目標 A-H を達成するために費やされる時間の割合(%)	A	20	B	5	C	10	D	10	E	5	F	20	G	15	H	15
学習目標に対するこの授業の達成目標	<p>(A) 企業活動で生起する問題を解決するための多面的に物事を考える能力とその素養。</p> <p>(B) 技術者が社会に対して負っている責任に関する理解(技術者倫理)</p> <p>(C) 激変する企業環境において、競争優位を確保するための経営知識・手法</p> <p>(D) 情報技術を習得し、サイバースペースを設計・管理・運営する能力</p> <p>(E) 科学、技術および情報を利用して社会の要求を解決するためのシステムデザイン能力</p> <p>(F) 日本語による論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力および国際的に通用するコミュニケーション基礎能力</p> <p>(G) 自主的、継続的に学習できる能力</p> <p>(H) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力</p>															
成績評価の方法	研究成果を中心に、研究に取り込む姿勢、研究発表を総合して評価を行う。															
教科書	特に指定しない。															
参考書																
履修の前提																
となる科目	オペレーションズ・リサーチI															
関連科目	オペレーションズ・リサーチII、e-ビジネス論															
授業計画	<p>4月からテーマ選定 前期に資料収集、関連技能(プログラミングなど)の学習 後期に研究に取り込む 12月から論文作成 1月に発表準備 2月下旬卒研発表会</p> <p>最近の卒研テーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> OR手法を用いる日本プロサッカー選手の評価 投資ポートフォリオについての提案 AHPを用いた商品推奨Webシステムの試作 AHPを用いた競馬結果の予想 ミミズコンポスト庫内環境のモデル化とシミュレーション PHPを用いた研究室配属システムのカスタマイズ OR用e-Learningコンテンツの作成 OERAモデルによるプロ野球選手の評価 プロ野球における最適打順について 大学の学科設置における最適化手法の適用 															

	11. 大学の財務分析 12. Powersim Studio チュートリアル日本語化
履修上の アドバイス	本研究室では、学生が自ら身近のテーマ、興味のあるテーマを選定し、卒業研究を行う方針である。身近で、興味のあるテーマを選べば、高いモチベーションをもって研究に打ち込むことができる。